

## 児童デイサービス開始

三浦市協 市内初の取り組み  
三社



8月から三浦市社会福祉協議会が始めた児童デイサービス事業  
三浦市総合福祉センター

三浦市社会福祉協議会は8月から、同市南下浦町菊名の市総合福祉センターで、障害のある子どもたちを受け入れる児童デイサービス事業を始めた。市内では、初めての取り組み。同社協は「家庭、学校に続く第三の居場所として、何かあれば気軽に来てほしい」と利用を呼び掛けている。

市内の福祉サービス充実を図ろうと、4月に同社協内に設立されたプロジェクトチームでヒアリングを実施。これまで市内には児童デイサービスを行う施設がなかったことから、障害のある子どもたちを持つ保護者たちから強い要望があり、サービス開始を決めたという。

原則的に月曜日から土曜日までの午前9時～午後3時は未就学児を対象とし、午後3～7時は学童保育として実施する。定員は10人。

常時5人程度のスタッフがおり、集団での活動や個別支援のプログラムを展開するという。

事業に付けられた名称は「HUGくみ」。育むと、英語で愛情をもって抱き締める、HUGとを掛け合わせたもの。同社協は「今後、学校とも連携し、総合的に子どもたちをみていきたい」と話している。

(原 隆介)